



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社インバウンドプラットフォーム 上場取引所 東  
 コード番号 5587 URL <https://www.inbound-platform.com/company/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 王 伸  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員CFO（氏名） 弓場 肇（TEL）03-3437-3129  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,097	26.5	64	△51.1	65	△50.5	45	△50.4
2023年9月期第2四半期	867	—	131	—	132	—	91	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年9月期第2四半期	13.27		12.69					
2023年9月期第2四半期	29.33		—					

- （注）1. 当社は、2023年6月18日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 2023年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2022年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,834	1,123	61.2
2023年9月期	1,821	1,048	57.6

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 1,123百万円 2023年9月期 1,048百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,717	30.8	450	34.4	453	20.3	317	25.9	93.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年9月期2Q	3,449,600株	2023年9月期	3,382,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年9月期2Q	一株	2023年9月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期2Q	3,430,199株	2023年9月期2Q	3,126,400株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2023年6月17日を基準日として2023年6月18日付で普通株式1株につき800株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社ウェブサイトにて掲載を予定しております。

(四半期決算説明内容の入手方法について)

当社ウェブサイトにて動画配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、訪日外国人数がコロナ禍前を超える水準に達し、宿泊・飲食サービス業等を中心にインバウンド市場が活性化しております。一方、継続的な為替の変動及び物価の高止まり、並びに高まる地政学的リスク等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社Wi-Fi事業は広告宣伝活動を強化したこと等により、訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービスは好調に推移しました。また、当社の強みである外国人顧客基盤や外国人向けサービスのノウハウを生かし新規サービスの開発を進め、訪日外国人及び在留外国人の生活シーンの利便性向上やさらなる収益機会の拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間は、売上高1,097,300千円（前年同期比26.5%増）、営業利益64,414千円（同51.1%減）、経常利益65,753千円（同50.5%減）、四半期純利益45,506千円（同50.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### a. Wi-Fi事業

当事業は、訪日外国人増加に伴い訪日外国人向けブランドのJapanWirelessが好調に推移し、当第2四半期累計期間における売上高は925,640千円（前年同期比28.4%増）となりました。一方、広告宣伝費等の増加によりセグメント利益は76,038千円（同38.8%減）となりました。

#### b. ライフメディアテック事業

当事業は、新幹線チケットの販売や海外発のモバイルアクセサリ販売が好調に推移し、当第2四半期累計期間における売上高は130,722千円（前年同期比10.7%増）となりました。一方、広告宣伝費等の増加によりセグメント損失5,986千円（前年同期はセグメント利益15,701千円）となりました。

#### c. キャンピングカー事業

当事業は、海外の予約手配サービスと国内レンタルサービス及びモータープールサービスを展開しています。当第2四半期累計期間は、訪日外国人増加と共に冬期のスキー需要により好調に推移し、前年同期比でも増加となりました。以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は39,145千円（前年同期比43.9%増）、セグメント損失は5,637千円（前年同期はセグメント損失8,133千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ12,757千円増加し、1,834,236千円となりました。

流動資産は1,165,407千円（前事業年度末に比べ115,346千円減少）となりました。これは主に、現金及び預金149,888千円減少、売掛金29,847千円増加、貯蔵品4,863千円増加によるものであります。固定資産は668,829千円（前事業年度末に比べ128,103千円増加）となりました。これは主に、有形固定資産67,226千円増加、無形固定資産43,134千円増加、投資その他の資産17,742千円増加によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ61,376千円減少し、711,236千円となりました。

流動負債は526,916千円（前事業年度末に比べ31,146千円減少）となりました。これは主に、買掛金80,780千円増加、契約負債38,923千円減少、未払法人税等85,614千円減少によるものであります。固定負債は184,320千円（前事業年度末に比べ30,230千円減少）となりました。これは主に、長期借入金30,446千円減少によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ74,133千円増加し、1,123,000千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加45,506千円、役員・従業員の新株予約権権利行使による資本金及び資本剰余金の増加28,627千円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ

149,888千円減少の1,054,138千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は59,548千円(前年同期は282,939千円の獲得)となりました。これは主に、税引前当期純利益65,753千円、減価償却費80,571千円、売掛金の増加額29,847千円、買掛金の増加額80,780千円、契約負債の減少額38,923千円、法人税などの支払額101,750千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は207,638千円(前年同期は170,596千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出127,630千円や、無形固定資産の取得による支出62,008千円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,798千円(前年同期は25,236千円の使用)となりました。これは、新株予約権の行使による収入28,627千円、長期借入金の返済30,426千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年11月14日の「2023年9月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

上記の通期業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化、クライアントのニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更、為替変動等、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。詳細は「2024年9月期第2四半期 決算説明資料」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,204,026	1,054,138
売掛金	42,799	72,647
商品	7,998	9,993
貯蔵品	4,804	9,667
その他	21,123	18,959
流動資産合計	1,280,753	1,165,407
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	236,137	210,028
その他(純額)	56,627	149,962
有形固定資産合計	292,764	359,991
無形固定資産		
ソフトウェア	94,350	163,389
その他	96,884	70,981
無形固定資産合計	191,235	234,370
投資その他の資産	56,725	74,467
固定資産合計	540,725	668,829
資産合計	1,821,479	1,834,236

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,965	168,745
1年内返済予定の長期借入金	61,890	61,910
未払法人税等	110,962	25,347
契約負債	170,161	131,238
その他	127,084	139,674
流動負債合計	558,063	526,916
固定負債		
長期借入金	204,496	174,050
その他	10,054	10,270
固定負債合計	214,550	184,320
負債合計	772,613	711,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	337,317	351,630
資本剰余金	496,817	511,130
利益剰余金	214,731	260,238
株主資本合計	1,048,866	1,123,000
純資産合計	1,048,866	1,123,000
負債純資産合計	1,821,479	1,834,236

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	867,316	1,097,300
売上原価	366,126	476,349
売上総利益	501,189	620,950
販売費及び一般管理費	369,338	556,536
営業利益	131,851	64,414
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	6
受取補償金	1,206	1,950
その他	225	130
営業外収益合計	1,434	2,086
営業外費用		
支払利息	524	727
為替差損	—	8
その他	—	11
営業外費用合計	524	747
経常利益	132,760	65,753
税引前四半期純利益	132,760	65,753
法人税等	41,054	20,247
四半期純利益	91,706	45,506



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	132,760	65,753
減価償却費	47,900	80,571
受取利息及び受取配当金	△2	△6
補助金収入	△56	—
受取補償金	△1,206	△1,950
支払利息	524	727
売掛金の増減額 (△は増加)	△19,578	△29,847
前払費用の増減額 (△は増加)	△54	4,786
棚卸資産の増減額 (△は増加)	86	△1,995
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△36	△4,863
買掛金の増減額 (△は減少)	29,406	80,780
契約負債の増減額 (△は減少)	94,697	△38,923
預り金の増減額 (△は減少)	△3,733	6,383
未払費用の増減額 (△は減少)	4,008	△2,789
未払金の増減額 (△は減少)	1,784	4,015
その他	△3,965	△2,684
小計	282,534	159,958
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	△524	△645
補助金の受取額	56	—
補償金の受取額	1,206	1,980
法人税等の還付額	338	—
法人税等の支払額	△675	△101,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,939	59,548
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△102,963	△127,630
無形固定資産の取得による支出	△55,692	△62,008
敷金の回収による収入	120	—
差入保証金の差入による支出	△12,060	△8,000
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,596	△207,638
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△25,236	△30,426
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	28,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,236	△1,798
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	87,107	△149,888
現金及び現金同等物の期首残高	521,446	1,204,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	608,553	1,054,138

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	Wi-Fi事業	ライフメディア テック事業	キャンピング カー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又は サービス	6,124	98,399	2,385	106,909	962	107,872
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	714,916	19,719	24,807	759,444	—	759,444
顧客との契約から生じる収益	721,041	118,118	27,193	866,354	962	867,316
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	721,041	118,118	27,193	866,354	962	867,316
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	721,041	118,118	27,193	866,354	962	867,316
セグメント利益又は損失(△)	124,283	15,701	△8,133	131,851	—	131,851

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング業務を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
	Wi-Fi事業	ライフメディア テック事業	キャンピング カー事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又は サービス	4,540	117,072	3,673	125,287	1,792	127,080
一定の期間にわたり移転さ れる財又はサービス	921,099	13,649	35,471	970,220	—	970,220
顧客との契約から生じる収益	925,640	130,722	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	925,640	130,722	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	925,640	130,722	39,145	1,095,508	1,792	1,097,300
セグメント利益又は損失 (△)	76,038	△5,986	△5,637	64,414	—	64,414

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンサルティング業務を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。